

プログラム

12月9日（土） シンポジウム《共和国の20世紀史》

（オンライン定員300名：Zoom, 大講義室I）

本シンポジウムでは、第一次世界大戦から大戦後にかけて大きな変化やその試みを経験したドイツ、トルコ、そして植民地朝鮮という3つの地域に注目し、それらの間の連鎖や相互作用、そして各地域において今なお繰り広げられる「共和国」をめぐる論争について検討します。

13:30	開会挨拶・注意事項説明		
13:35	〈趣旨説明〉		
	世界史の中のヴァイマル共和国		
13:45	—近年の研究動向から—	九州大学	今井 宏昌
14:15	オスマン帝国／トルコ共和国における共和主義	九州大学	小笠原 弘幸
14:45	朝鮮における共和国構想の来歴と展開	九州大学	小野 容照
	（休憩15分）		
15:30	コメント—日本近現代史の視点から—	九州大学	国分 航士
15:50	総合討論・質疑・総括		

12月10日（日） 研究発表

＜日本史部会＞（オンライン定員 100 名：Zoom, E-A-117 教室）

10:00	中世後期における宮崎宮と大内氏	九州大学	藤立 紘輝
		北九州市立自然	
10:40	筑前麻生氏の惣庶関係について	史・歴史博物館	佐藤 凌成
11:20	豊臣政権下における施薬院全宗の政治的役割	福岡大学	山田 ひな子
	広島藩儒の妻・頼静子の個人史にみる「悲しみ」		
13:00	の感情—その規範と実像—	頼山陽史跡資料館	川邊 あさひ
13:40	古賀侗庵の言説における中国	九州大学	井上 修平
14:40	民力涵養の時代	九州大学	田川 理彩
	第一次大戦後帝国日本における朝鮮開発政策の		
15:20	形成—産米増殖計画第一期計画を中心に—	東京大学	村瀬 啓
16:00	在郷軍人系政治団体の構造と論理	東京大学	大窪 有太

<東洋史部会> (オンライン定員100名: Zoom, E-B-102教室)

13:00	『宋史』賈似道伝成立に関する一考察 —襄陽の戦いに関する言説をてがかりに—	大阪公立大学	里和 麟太郎
13:40	林希元と漳州湾密貿易 1647年、南明勢力の日本乞師	九州大学	中島 楽章
14:30	—泰長院所蔵「明将黄斌卿啓写」を中心として—	九州大学	劉 明 鏞
15:10	後金との通交関係からみた朝鮮の交隣政策	中興大学	沈 玉 慧

<朝鮮学部会> (オンライン定員100名: Zoom, E-A-118教室)

10:30	韓国高敞出土將軍号銅印考 —六世紀前半の百済の支配秩序の一側面—	京都府立大学	井上 直樹
11:15	高麗朝臣一族の改姓と遣渤海使任用	早稲田大学高等学院	柿沼 亮介
13:00	高麗時代の人事制度と考課		パベル・スミルノフ
13:40	和歌山・如意輪寺所蔵『龍華会図』銘文の分析 —朝鮮国王明宗の小祥における王朝政府および宮中の動 向と関連して—	九州大学	押川 信久
14:30	朝鮮史料からみた建州女直の内部構成 —建州衛における異姓領主の分析—	東京大学	中井 勇人
15:10	降倭たちの戦後—壬辰戦争と日本人の朝鮮定住—	天理大学	長森 美信
16:00	英祖49年(1773)刊『豊基秦氏族譜』について	東京大学	六反田 豊

<西洋史部会> (オンライン定員100名: Zoom, E-B-101教室)

10:30	第一次世界大戦と黒人アイデンティティーアメ リカ黒人社会における前線兵士をめぐって—	九州大学	小野 泰誠
13:00	13~16世紀のスペインの料理書にみる米料理の展開	立命館大学	岡田 花音
13:50	13世紀マリョルカ王国におけるスノ・サンス領の 管理と文書利用	広島大学	久納 早智
14:40	19世紀ドイツの議会主義—知的エリートの議会構 想・ドイツ関税同盟改革・市民社会—	東京大学	峯 沙智也
15:30	西ドイツにおける軍人・軍隊像の変容 —1950~70年代の論争と改革—	大阪大学	福永 耕人

<イスラム文明史部会> (オンライン定員100名: Zoom, E-A-105教室)

10:00	『カイナの書』におけるカイナと成人男性: 主従外という関係性が持つ意味	立命館大学	金田 千澄
10:35	ユダヤ教カライ派知識人ユースフ・バスイールと 同時代のムスリムたち	京都大学	法 貴 遊

11:20	サアド朝期マラケシュの異邦人たち：あるドミニコ会士の捕虜買い戻しの旅	東京外国語大学	篠田 知 暁
11:55	オスマン帝国における内国旅券の導入	大阪公立大学	上野 雅由樹
13:20	エジプト混合裁判所判例集の特徴と傾向：19世紀末～20世紀初頭の判例分析を通じて	千葉大学	出川 英里
13:55	トルコ共和国の公教育における宗教教育の拡大過程（1950年代～1970年代）	岩手県立大学	上野 愛実
14:40	シンポジウム「イスラーム国家体系と国際法」		
	司会：守田 まどか（東京外国語大学） 趣旨説明：近藤 信彰（東京外国語大学）		
14:45	近世前半期オスマン帝国のアフドナーメと国家体系	同志社大学	堀井 優
15:20	サファヴィー帝国からみたイスラーム国家体系	東京外国語大学	近藤 信彰
15:55	19世紀末のアラビア語国際法関連著作における国際法の法源について	九州大学	沖 祐太郎
16:35	コメント：国際法学、比較法制史の視点から	大阪女学院大学	幡新 大実
17:10	総合討論（17:30終了予定）		

<考古学部会>（オンライン定員300名：Zoom, E-B-112教室）

10:00	区画墓における儀礼の本質と権威—近畿弥生社会における葬送執行者の役割—	京都府教育庁	藤井 整
10:50	日常土器からみた古墳時代後期における地域社会の変容—博多湾沿岸から有明海沿岸北部を対象に—	九州大学	足達 悠紀
11:30	高麗陶器大型壺の消費に関する一様相—完形資料を中心に—	琉球大学	主税 英徳
13:10	古墳時代後・終末期における罫付大刀の展開—群馬県域と北部九州の比較から—	福岡県教育庁	出見 優人
13:50	古墳時代後期から終末期における陶棺の分布とその背景	奈良県立橿原考古学研究所	絹 嶋 歩
14:30	国指定史跡長登銅山跡の調査	美祢市教育委員会	山根 謙二
15:20	春秋戦国時代山東地域における青銅器の編年と分布	九州大学	王 騰 飛
16:00	モンゴリア西部における青銅器文化	九州大学	松本 圭太
		モンゴル科学アカデミー考古学研究所	Amgalantugs Tsend
		モンゴル科学アカデミー考古学研究所	Ishtseren Lochin

〒819-0395 福岡市西区元岡744イースト1号館 九州大学文学部内 九州史学会事務局

Email: kyushushigakkai@gmail.com <https://kyushushigakkai.org/>